

2025年6月30日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

中小企業景況調査(2025年6月)要約版

〔概況〕 中小企業の売上げDIはマイナス幅が拡大
売上げ見通しDIもマイナス幅が拡大

1 売上げ

2025年6月の売上げDIは、5月からマイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲8.6となった。

今後3カ月(6月～8月)の売上げ見通しDIは、5月からマイナス幅が2.8ポイント拡大し、▲5.1となった。

2 利益

利益額DIは、5月から1.4ポイント低下し、▲0.5となった。

3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、5月から1.4ポイント低下し、6.6となった。

仕入価格DIは、5月から2.6ポイント低下し、18.6となった。

従業員判断DIは、5月から1.6ポイント上昇し、12.0となった。

生産設備判断DIは、5月からマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲5.8となった。

＜調査の要領＞	調査時点	2025年6月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏451社、中京圏143社、近畿圏306社) 業種構成: 製造業607社、建設業82社、運輸業54社、卸売業157社
	有効回答企業数	546社
	回答率	60.7%

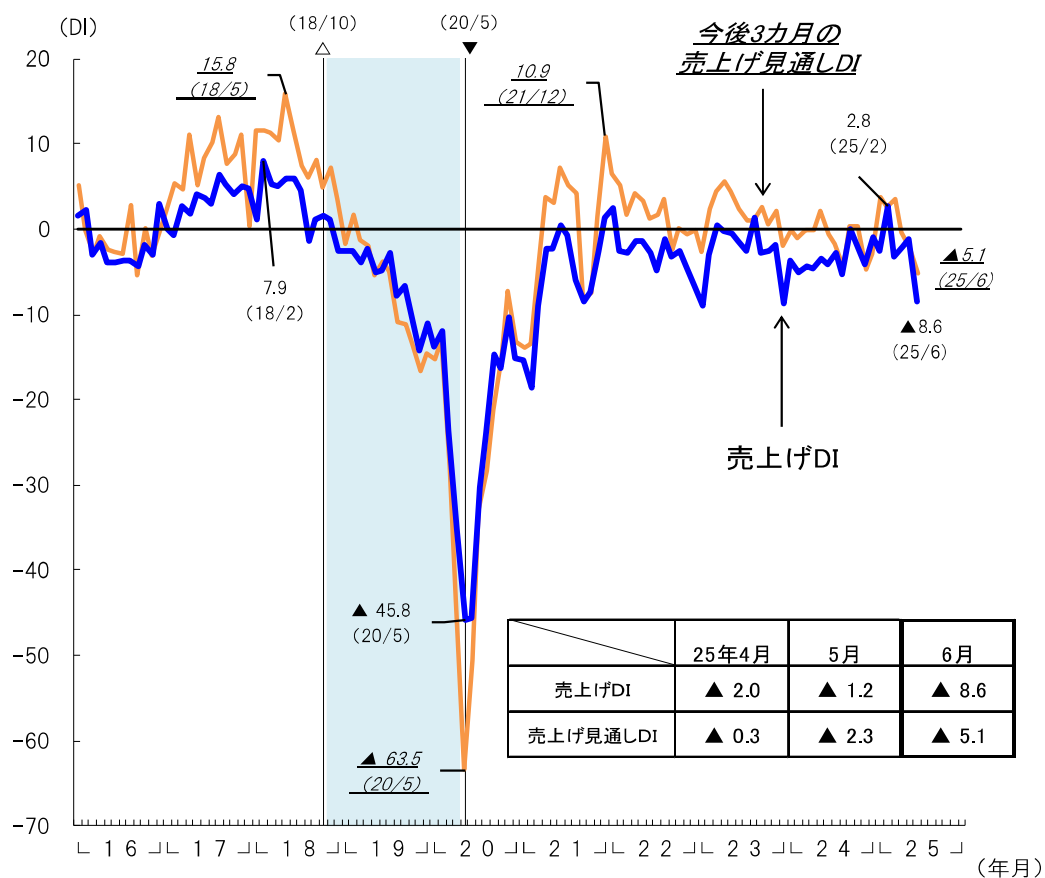
＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel: 03-3270-1704 (担当: 片山、立澤)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

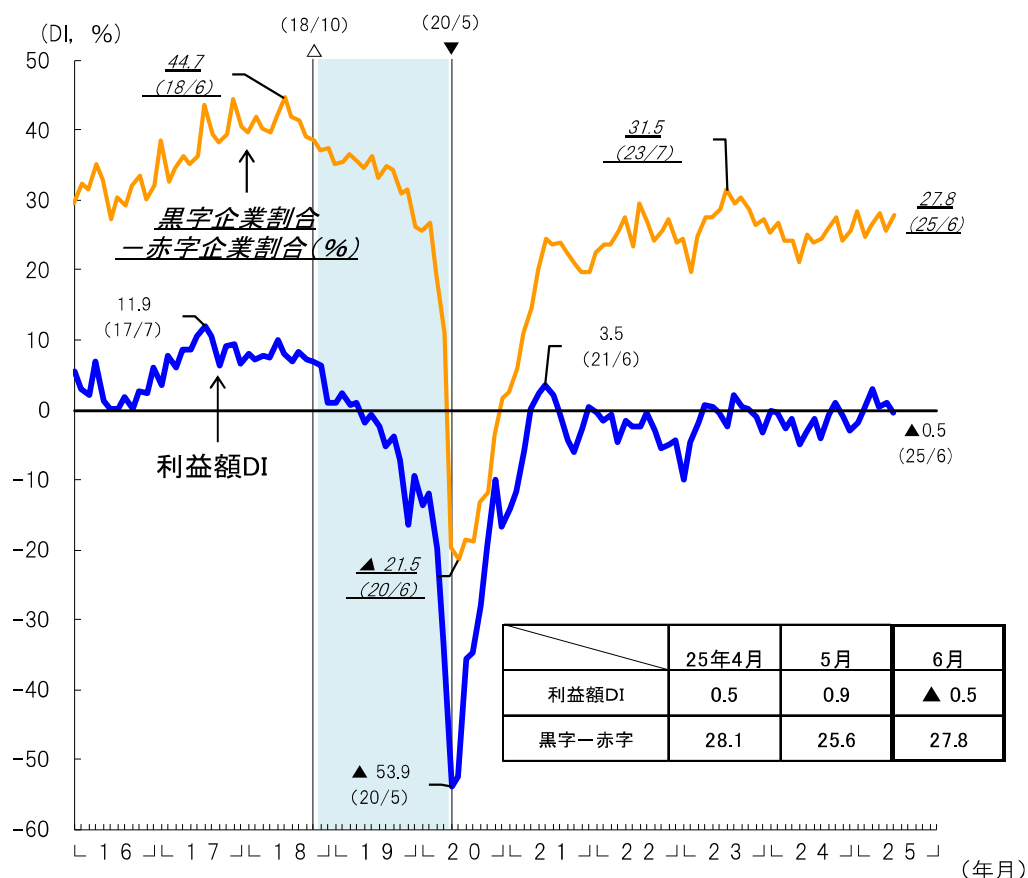
※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

- 売上げDI(「増加」－「減少」)は、5月からマイナス幅が7.4ポイント拡大し、▲8.6となった。
- 売上げ見通しDI(「増加」－「減少」)は、5月からマイナス幅が2.8ポイント拡大し、▲5.1となった。
- 利益額DI(「増加」－「減少」)は、5月から1.4ポイント低下し、▲0.5となった。
- 黒字企業割合－赤字企業割合は、5月から2.2ポイント上昇し、27.8となった。

図－１ 売上げ及び売上げ見通しの動向

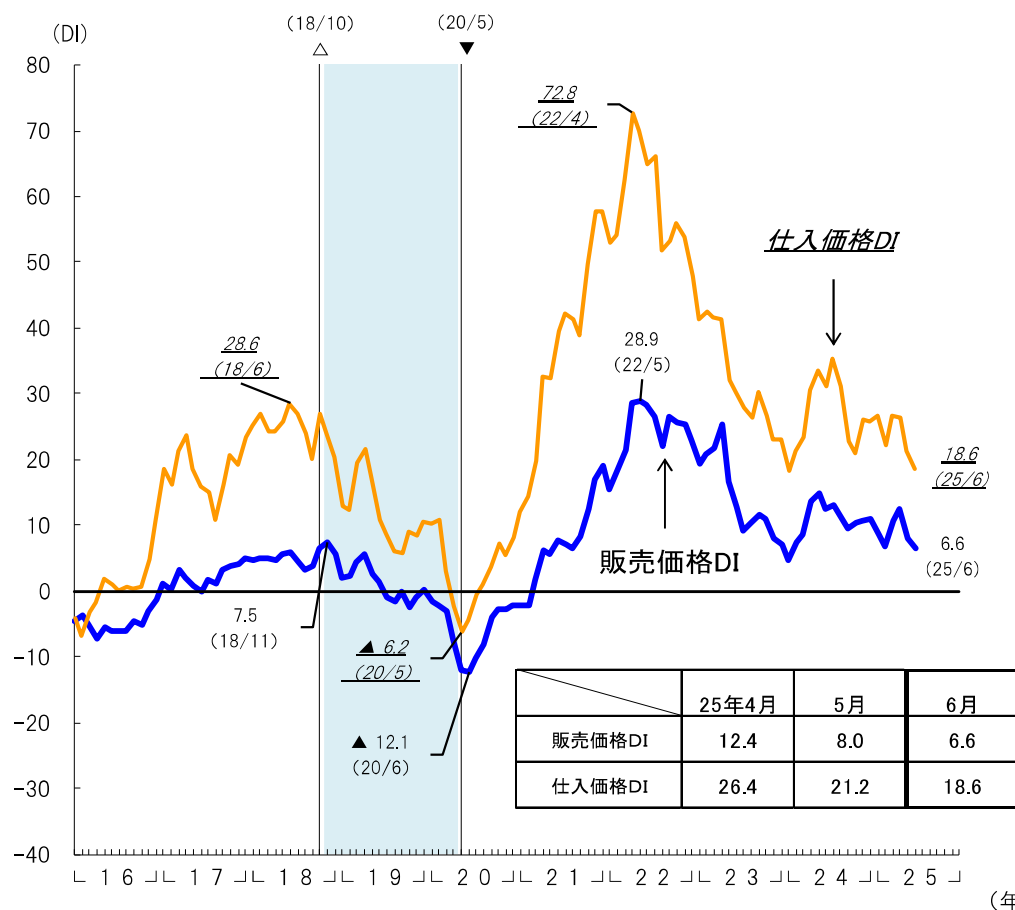


図－２ 利益の動向



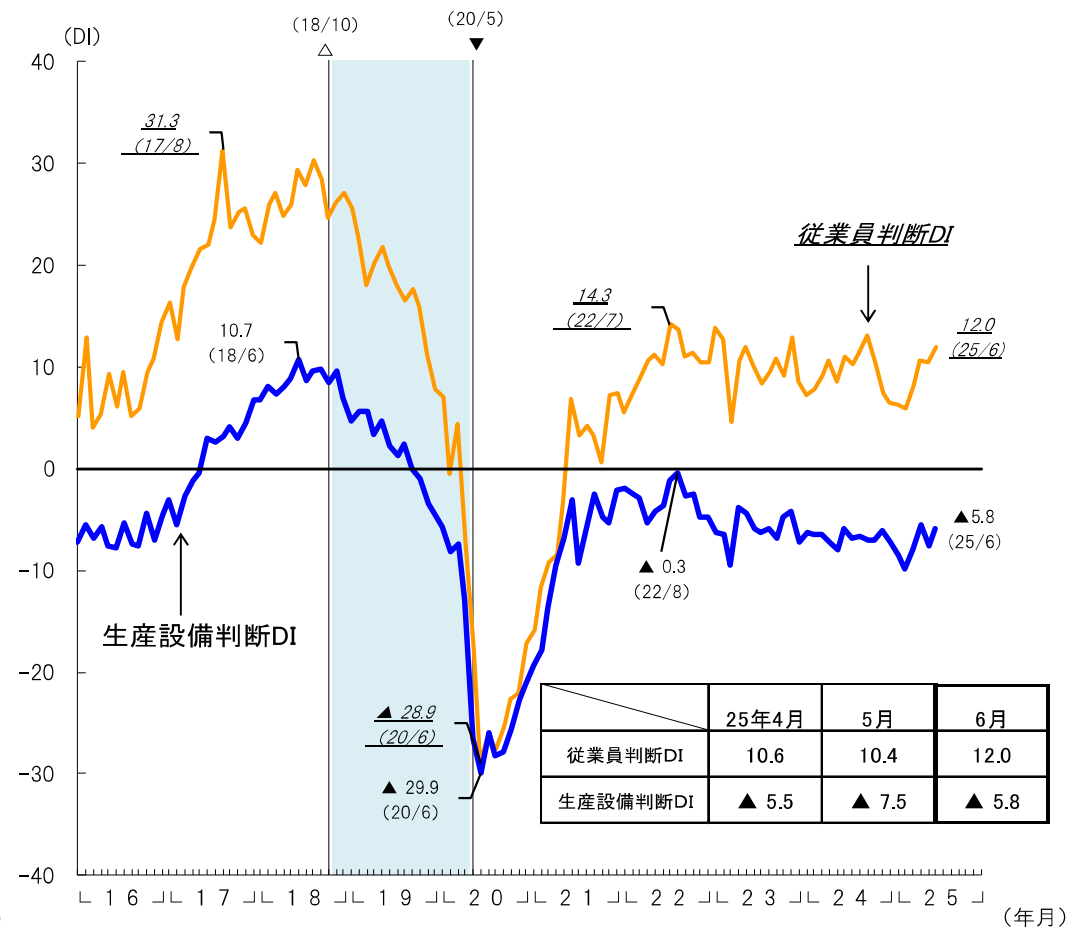
- 販売価格DI(「上昇」－「低下」)は、5月から1.4ポイント低下し、6.6となった。
- 仕入価格DI(「上昇」－「低下」)は、5月から2.6ポイント低下し、18.6となった。
- 従業員判断DI(「不足」－「過剰」)は、5月から1.6ポイント上昇し、12.0となった。
- 生産設備判断DI(「不足」－「過剰」)は、5月からマイナス幅が1.7ポイント縮小し、▲5.8となった。

図－3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」－「低下」企業割合。

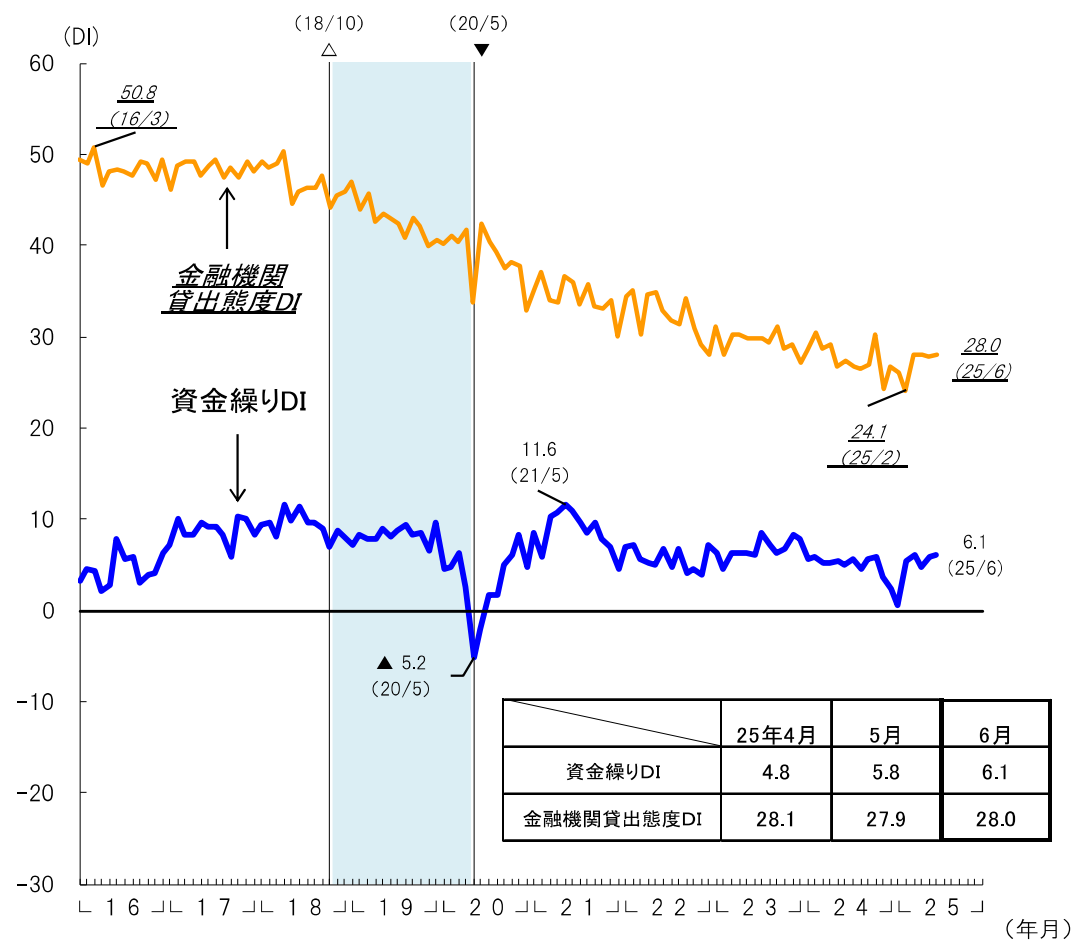
図－4 従業員状況、生産設備の判断



(注) 1 製造業の数値。
2 従業員判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。
3 生産設備判断DIは「不足」－「過剰」企業割合(季節調整値)。

- 資金繰りDI(「余裕」－「窮屈」)は、5月から0.3ポイント上昇し、6.1となった。
- 金融機関貸出態度DI(「緩和」－「厳しい」)は、5月から0.1ポイント上昇し、28.0となった。

図－5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」－「窮屈」企業割合(季節調整値)。
 2 金融機関貸出態度DIは「緩和」－「厳しい」企業割合。